

# 2003年度 中間決算説明会

2003年11月17日

# 目次

- I .2003年度 中間決算実績
- II .2003年度 通期業績見通し
- III.『中期経営計画(2002年度～2005年度)』  
の進捗状況

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

# I . 2003年度 中間決算実績

## 1. 決算概況

<連結決算>

(単位:億円)

	02下期	03上期	増減
売上高	6,315	5,501	△ 813
営業利益	427	460	32
経常利益	216	294	77
特別損益	△ 34	△ 114	△ 80
法人税等・少数損益	△ 97	△ 24	73
当期純利益	84	155	70
利益剰余金残高	△ 114	△ 36	78
総資産残高	21,223	20,764	△ 459

< 单独決算 >

(単位: 億円)

	02下期	03上期	増減
売上高	3,819	3,592	△ 227
営業利益	295	385	89
経常利益	171	285	113
特別損益	△ 48	△ 71	△ 22
法人税等	△ 59	△ 6	52
当期純利益	63	206	143
利益剰余金残高	503	638	135
総資産残高	15,818	15,400	△ 417

## 2. 売上高・営業利益

<連結>

(単位:億円)

	02下期		03上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼	4,944	393	4,794	467	△ 149	73
エンジニアリング	474	3	256	△ 18	△ 218	△ 21
エレクトロニクス	358	△ 5	219	△ 0	△ 138	4
その他	537	42	231	19	△ 306	△ 23
(消去)		(△ 5)		(△ 7)		(△ 1)
合計	6,315	427	5,501	460	△ 813	32

増減の要因 ←

	要因
鉄鋼	連結範囲の変動により減収となったが、販売価格改善により増益
エンジニアリング	季節要因に加え、公共投資の抑制により建設分野を中心に減収
エレクトロニクス	住友金属システムソリューションズ譲渡により減収
その他	小倉興産、住金ケミカル譲渡により減収

< 単独 >

	02下期	03上期	増減
粗鋼生産量(万トﾝ)	542	557	15
販売数量(万トﾝ)	509	499	△ 10
為替レート(円/ドル)	121	118	△ 3

< 単独 >

(単位: 億円)

	02下期	03上期	増減
	売上高	売上高	売上高
鉄鋼	3,343	3,345	2
エンジニアリング	476	246	△ 230
合計	3,819	3,592	△ 227

### 3. 単独経常利益増減

02/上→03/上 165億円好転

損益好転要因		損益悪化要因	
	億円		億円
コスト改善(注)	80	原材料価格	△ 35
販売環境変動他	145	為替差	△ 25
合計	225	合計	△ 60

(参考)

	02/上	03/上	増減
	円/ドル		
為替レート	123	118	5円 円高
	万トン		
販売数量	495	499	4
	千円/T		
鉄鋼部門平均 販売単価	63.9	67.0	3.1
	価格差	4.5	
	為替差	△ 1.0	
	構成差	△ 0.4	
	計	3.1	←

02/下→03/上 114億円好転

損益好転要因		損益悪化要因	
	億円		億円
コスト改善(注)	35	為替差	△ 15
販売環境変動他	144	エンジン季節要因	△ 15
		原材料価格	△ 35
合計	179	合計	△ 65

(参考)

	02/下	03/上	増減
	円/ドル		
為替レート	121	118	3円 円高
	万トン		
販売数量	509	499	10
	千円/T		
鉄鋼部門平均 販売単価	65.7	67.0	1.3
	価格差	2.1	
	為替差	△ 0.6	
	構成差	△ 0.2	
	計	1.3	←

#### 4. 特別損益

(単位:億円)

	03/上 連結	03/上 単独
事業再編益	—	8
特別利益計	—	8
退職給付引当金繰入額	△ 36	△ 24
事業再編損	△ 50	—
固定資産除却損失等	△ 28	△ 55
特別損失計	△ 114	△ 80
特別損益計	△ 114	△ 71

## 5. キャッシュフロー

<連結>

(単位:億円)

	02/下	03/上
営業活動によるキャッシュフロー	997	895
投資活動によるキャッシュフロー	110	△ 123
財務活動によるキャッシュフロー	△ 778	△ 921
現金及び現金同等物の期末残高	1,217	1,065

## 6. 連結剰余金

(単位:億円)

	02/下	03/上	増減
資本剰余金期首残高	377	607	230
株式交換による新株の発行	—	10	10
増資による新株の発行	229	—	△ 229
資本剰余金期末残高	607	618	10
利益剰余金期首残高	△ 191	△ 114	77
当期純利益	84	155	70
配当金	—	△ 71	△ 71
連結除外等による減少	△ 7	△ 4	2
利益剰余金期末残高	△ 114	△ 36	78

補足数値

(1) 金融収支 (単位:億円)

<連結>

	02年度		03年度
	上期	下期	上期
受取利息・受取配当	28	14	28
支払利息	△ 123	△ 118	△ 117
金融収支	△ 94	△ 103	△ 88

(単位:億円)

<単独>

	02年度		03年度
	上期	下期	上期
受取利息・受取配当	43	13	34
支払利息	△ 82	△ 76	△ 74
金融収支	△ 38	△ 63	△ 40

(2) 設備投資・減価償却費(有形固定資産)

<連結>

(検収ベース、億円)

	01年度	02年度	03年度		計
			上期	下期計画	
設備投資 A					
鉄鋼事業	518	464	296	385	681
非鉄鋼事業	228	45	19	20	40
合計	746	509	315	405	720
減価償却費 B	1,211	917	393	415	810
B-A	465	408	78	10	90

<単独>

(検収ベース、億円)

	01年度	02年度	03年度		計
			上期	下期計画	
設備投資 A					
鉄鋼事業	291	288	246	270	520
非鉄鋼事業	100	-	-	-	-
合計	391	288	246	270	520
減価償却費 B	727	589	265	240	510
B-A	336	301	19	△ 30	△ 10

### (3)鉄鋼事業売上

<連結>

カンパニー別売上金額

(単位:億円)

カンパニー	03/上
鋼板・建材	2,825
鋼管	1,087
交通産機品	341

<単独>

カンパニー別売上数量・金額

(単位:万トン、億円)

カンパニー	03/上	
	数量	金額
鋼板・建材	420	2,309
鋼管	70	757
交通産機品	9	279

## 鉄鋼事業

< 単独 >

国内・輸出別売上

(単位: 万トン、億円)

	03/上	
	数量	金額
国内	281	2,049
輸出	218	1,296
合計	499	3,345

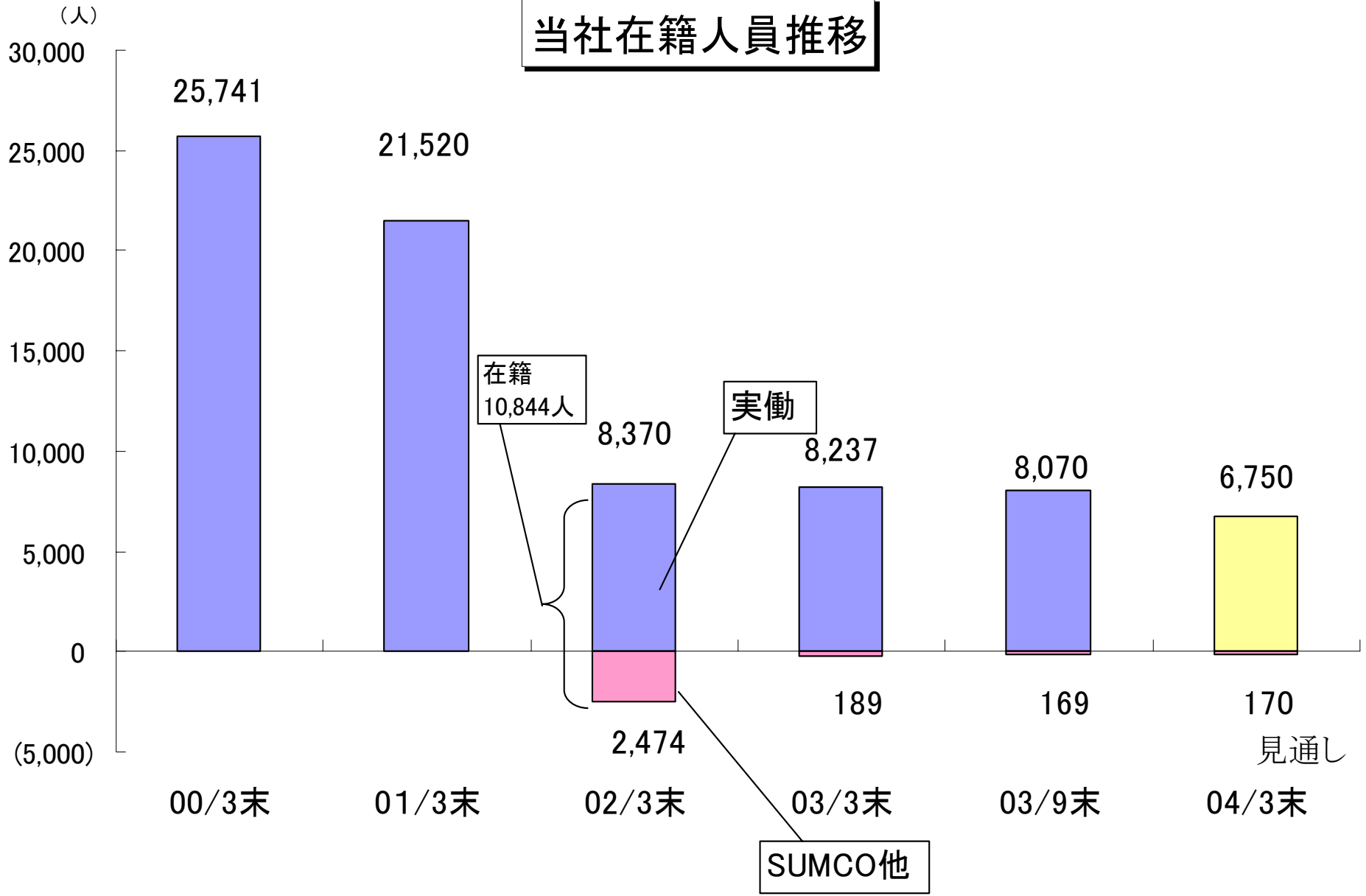
< 単独 >

輸出向先別比率

(単位: %、金額ベース)

	03/上
アジア	71
北米	8
中近東	7
EU	2
他	12

# 当社在籍人員推移



## Ⅱ. 2003年度 通期業績見通し

## 1. 03年度業績見通し

前提		03年度		
		上期実績	下期見通し	通期見通し
為替レート	円/ドル	118	110	114
全国粗鋼	百万トン	55.4	54強	109強
(当社グループ粗鋼) (*)	(万トン)	634	630程度	1260程度
当社粗鋼生産量	万トン	557	395程度	950程度

(\*)小倉、直江津、住金鋼鉄和歌山を含む)

為替バランス (単位:億ドル/年)

(ドル受取超過) 単独	11
グループ	0
連結	11

<連結>

(単位:億円)

			通期	上→下増減
	上期実績	下期見通し		
売上高	5,501	5,500程度	11,000程度	0
営業利益	460	450程度	910程度	△10程度
経常利益	294	350程度	640程度	60程度
特別損益	△ 114	△190程度	△300程度	△80程度
法人税等・少数損益	△ 24	△60程度	△90程度	△30程度
当期純利益	155	100程度	250程度	△50程度

<単独>

			通期	上→下増減
	上期実績	下期見通し		
売上高	3,592	3,400程度	7,000程度	△200程度
営業利益	385	345程度	730程度	△40程度
経常利益	285	285程度	570程度	0
特別損益	△ 71	△250程度	△320程度	△180程度
法人税等	△ 6	△10程度	△20程度	0
当期純利益	206	25程度	230程度	△180程度

## 2. 売上高・営業利益

<連結>

(単位:億円)

	02年度実績		03年度見通し		対前期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼	9,603	667	9,400程度	885程度	△200程度	220程度
エンジニアリング	786	△5	700程度	△15程度	△90程度	△10程度
エレクトロニクス	762	△8	500程度	0程度	△260程度	10程度
その他	1,094	64	400程度	40程度	△690程度	△20程度
(消去)		(△19)		(0)		(20程度)
合計	12,246	698	11,000程度	910程度	△1,250程度	220程度

<連結>

(単位:億円)

	03/上実績		03/下見通し		対前期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
鉄鋼	4,794	467	4,600程度	420程度	△200程度	△50程度
エンジニアリング	256	△18	450程度	△0程度	200程度	20程度
エレクトロニクス	219	△0	280程度	0程度	60程度	10程度
その他	231	19	170程度	20程度	△60程度	0
(消去)		(△7)		(10)		(20程度)
合計	5,501	460	5,500程度	450程度	0	10程度

### 3. 単独経常利益増減

02年度→03年度見通し 278億円好転 (292億円→570億円)

損益好転要因		損益悪化要因	
	億円		億円
コスト改善	140	為替差	△ 90
販売環境変動他	388	原材料価格	△ 120
		鹿島災害影響	△ 40
合計	528	合計	△ 250

03/上→03/下見通し 横這い (285億円→285億円)

損益好転要因		損益悪化要因	
	億円		億円
コスト改善	25	為替差	△ 50
エンジン季節要因	15	原材料価格	△ 50
販売環境変動他	100	鹿島災害影響	△ 40
合計	140	合計	△ 140

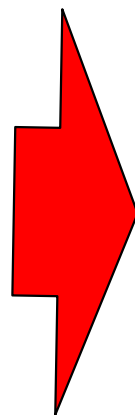
# Ⅲ. 『中期経営計画(2002年度～2005年度)』 の進捗状況

# 中期経営計画で目指すもの

製品競争力の強化、顧客評価NO. 1、高収益体質  
の確立のために事業基盤を強化

鉄鋼事業の  
抜本的な構造改革と  
競争力強化

財務基盤の強化



株主価値の最大化

## 計画で掲げた施策

### I. 鉄鋼事業の抜本的な構造改革と競争力強化

- 1) 薄板量産品を鹿島製鉄所へ集中 / 和歌山製鉄所は薄板高級品へ特化
- 2) 和歌山製鉄所 上工程のフル操業化
- 3) ステンレス事業の統合
- 4) 新日鐵と近隣製鉄所間・原料 / 資機材購買及び物流面等での相互協力
- 5) 神戸と原料 / 資機材購買及び物流面等での相互協力

その結果、

鹿島製鉄所 上・下工程が一貫したフル操業体制

和歌山製鉄所 上工程のフル操業体制

和歌山構造改革の完了

世界最高水準のコスト競争力を有する事業体制を構築

## ・財務基盤の強化

- 1) フロー収益を確保 (ROA 5%以上)
- 2) 資産圧縮
- 3) 財務体質の早期改善：第三者割当増資の実施

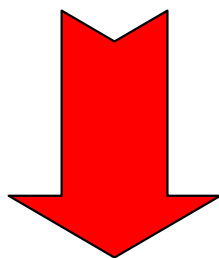
これらにより、

連結借入残高を1兆円以下に削減  
株主資本比率（連結）05年度末 22%台

## 施策の進捗状況

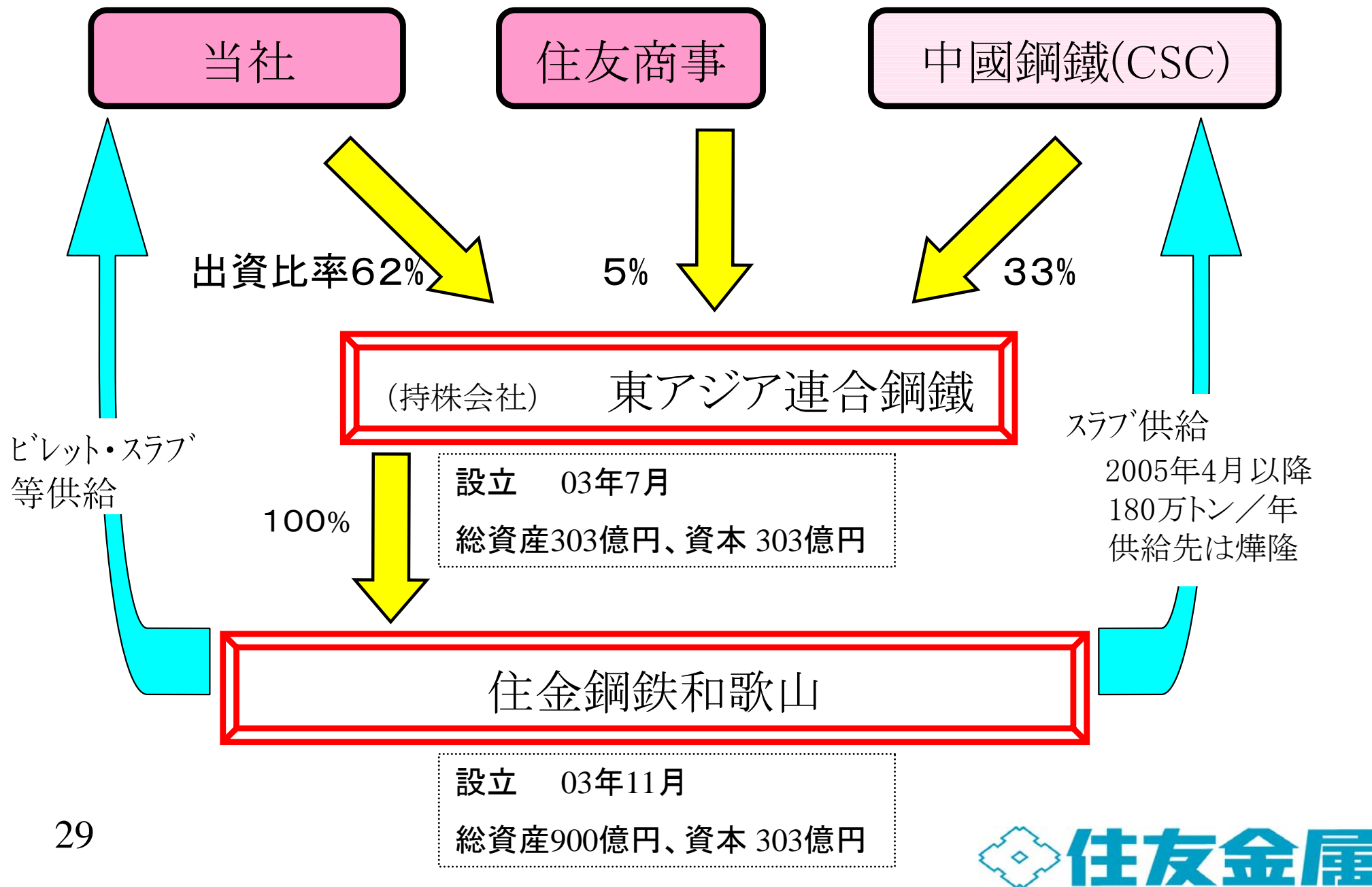
### I. 鉄鋼事業の抜本的な構造改革と競争力強化

この11月、和歌山製鉄所 上工程を分社化し、  
住金鋼鉄和歌山を設立

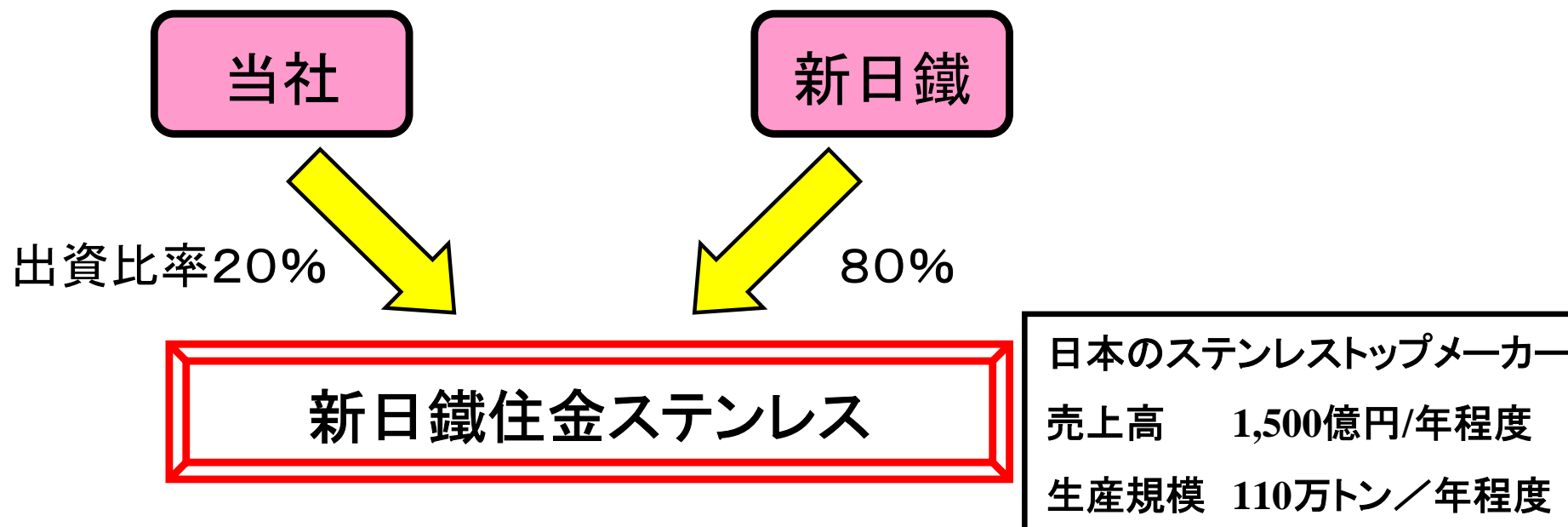


中国鋼鉄グループにスラブを安定的に供給し、  
和歌山製鉄所のフル操業体制を確立

# 和歌山 上工程合併事業の形態



# 新日鐵と両社ステンレス事業を統合(03年10月)



## 統合会社の主要施策：

- 1．顧客へのサービス対応力の強化
- 2．事業体制の効率化

## Ⅱ. 財務基盤の強化

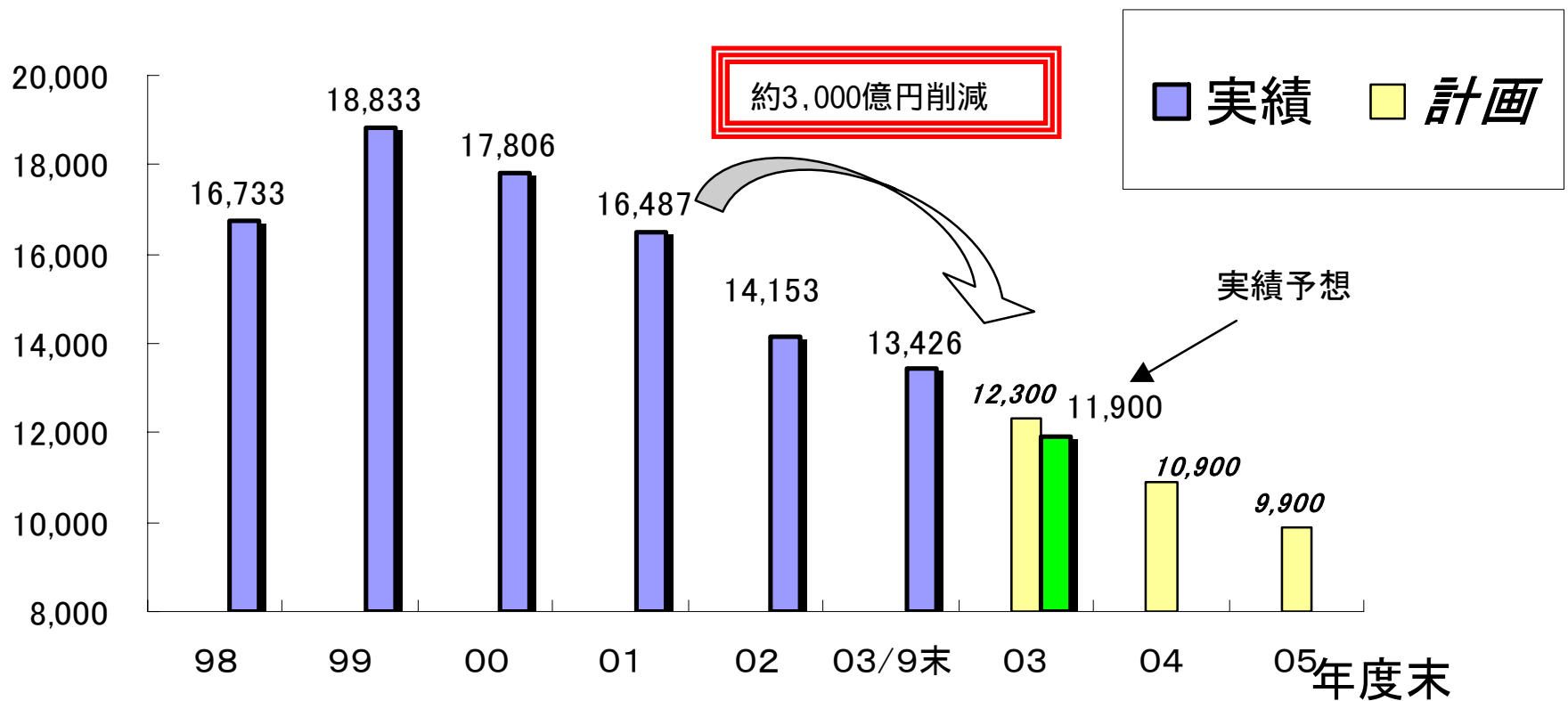
		02年度	03年度
第三者割当増資		471億円実施	
事業の 選択と集中	事業譲渡 及び 株式の一部 譲渡	住金ケミカル 住友金属システムソリューションズ 小倉興産、L-SE 等	住友特殊金属 等
	株式交換に よる完全子 会社化		関東特殊製鋼

### 《 連結対象会社数の推移 》

00年9月末	01年3月末	02年3月末	03年3月末	03年9月末
155	144	126	107	106

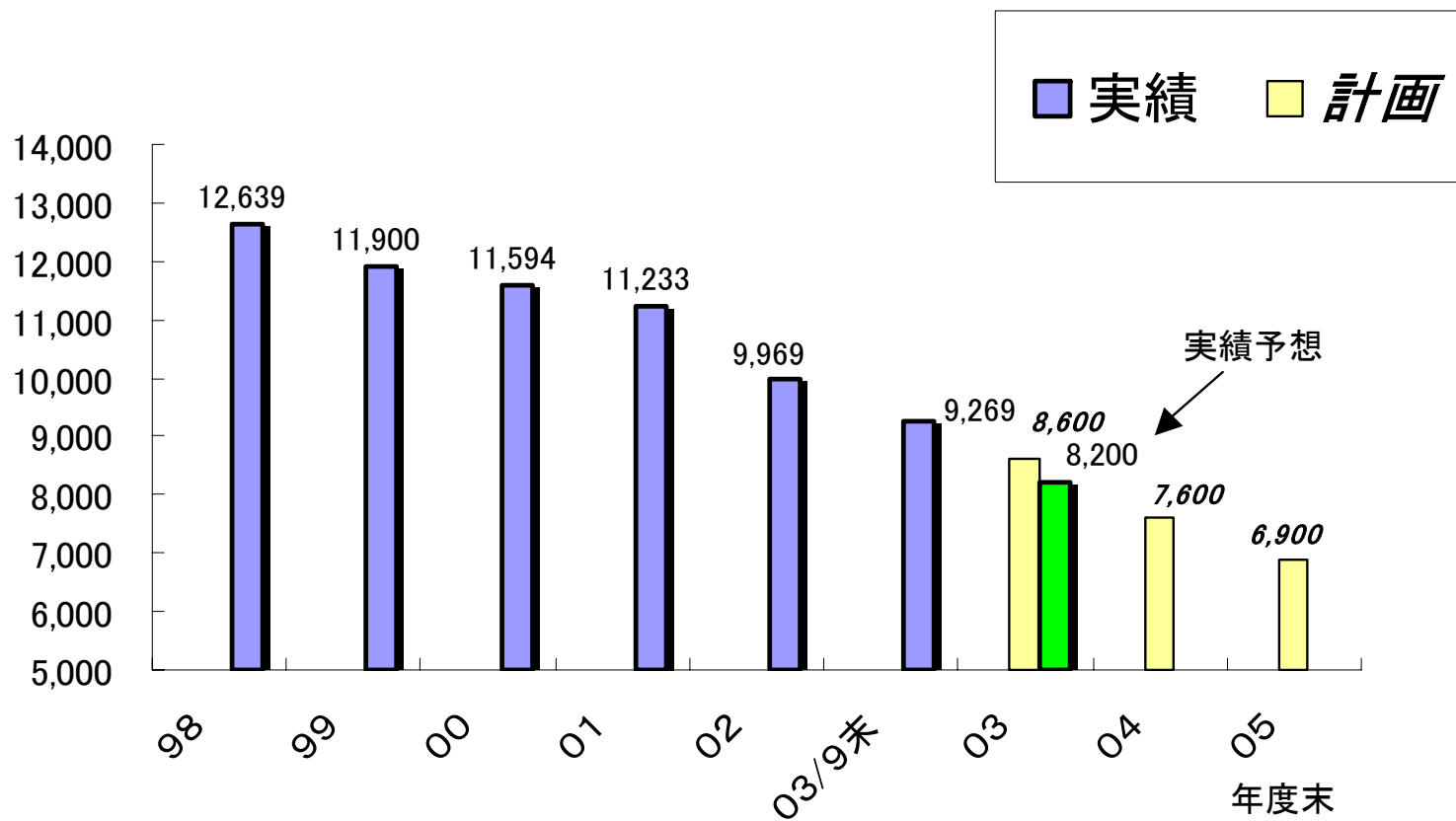
# 連結借入金残高

(億円)

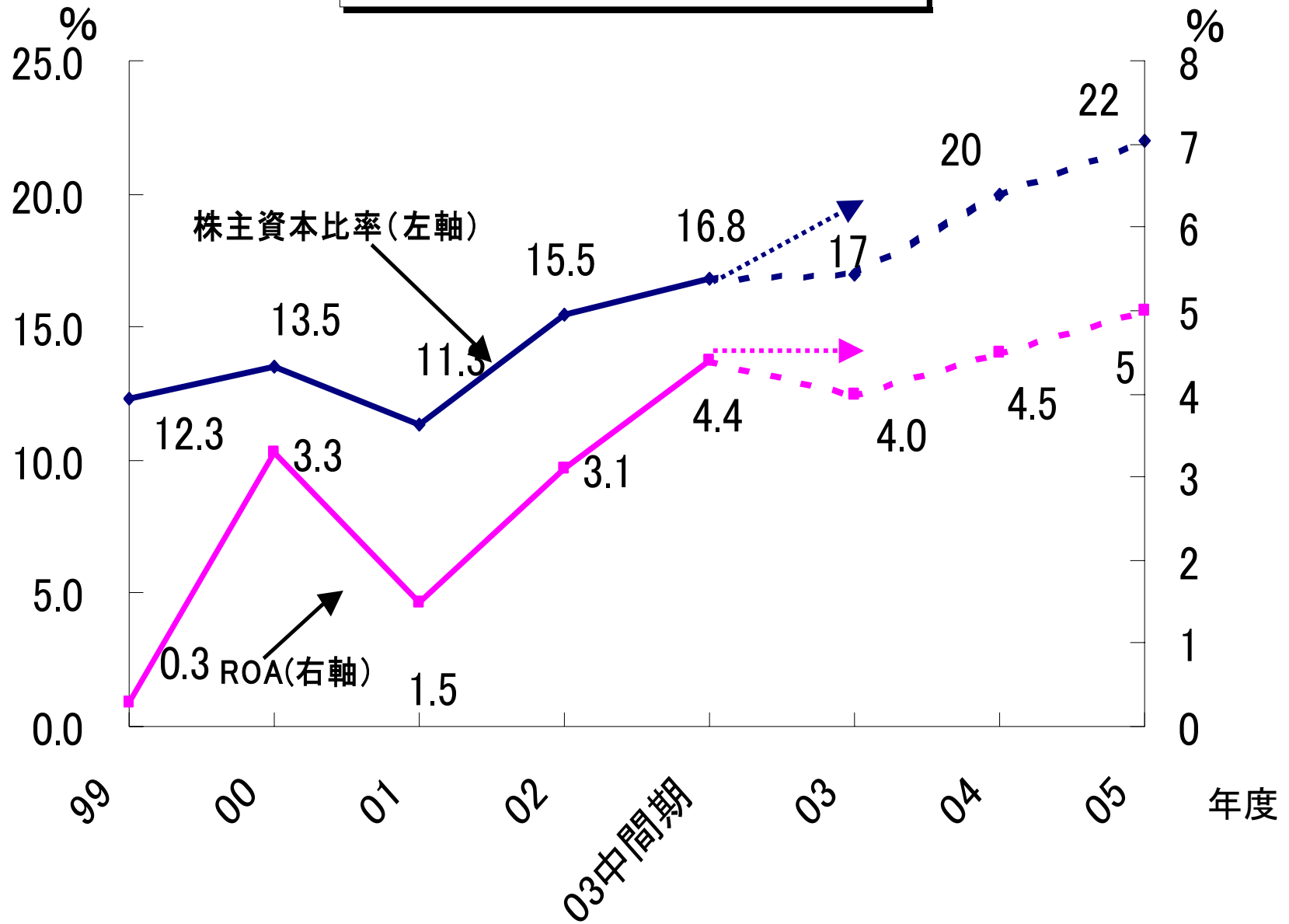


# 単独借入金残高

(億円)



# 株主資本比率・ROA (連結)



## 財務目標の達成状況

<連結>

	01年度	02年度	03年度見通し	
			03年度上期	
売上高	13,496	12,246	5,501	11,000
営業利益	400	698	460	910
総資産営業利益率(ROA)	1.5%	<u>3.1%</u>	<u>4.4%</u>	<u>4.4%</u>
経常利益	7	413	294	640
総資産	24,334	21,223	20,764	20,000
借入残高	16,487	<u>14,153</u>	<u>13,426</u>	<u>11,900</u>
株主資本	2,744	3,287	3,497	3,600
株主資本比率	11.3%	<u>15.5%</u>	<u>16.8%</u>	<u>18%</u>
D/Eレシオ	6.0倍	4.3倍	3.8倍	3.4倍

### 中期経営計画

(単位:億円)

04年度	05年度
	10,000
	940
	<u>5%</u>
	700
	18,500
<u>10,900</u>	<u>9,900</u>
3,750	4,150
<u>20%</u>	<u>22%</u>
3倍以下	2.4倍

〔全国粗鋼95百万ト  
115円/ドル〕

<単独>

	01年度	02年度	03年度見通し	
			03年度上期	
売上高	7,728	7,277	3,592	7,000
営業利益	324	486	385	730
総資産営業利益率(ROA)	1.8%	<u>3.0%</u>	<u>4.9%</u>	<u>4.7%</u>
経常利益	10	292	285	570
総資産	16,802	15,818	15,400	14,900
借入残高	11,233	<u>9,969</u>	<u>9,269</u>	<u>8,200</u>
株主資本	3,153	3,719	4,018	4,040
株主資本比率	18.8%	<u>23.5%</u>	<u>26.1%</u>	<u>27%</u>
D/Eレシオ	3.6倍	2.7倍	2.3倍	2.1倍

中期経営計画

(単位:億円)

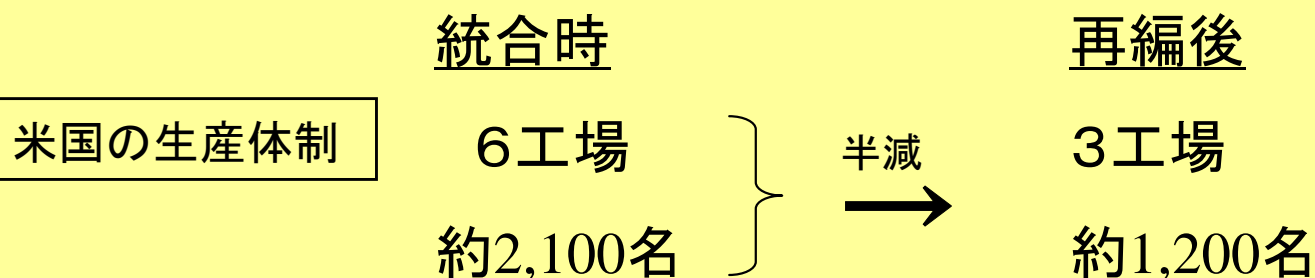
04年度	05年度
	6,200
	700
	<u>5%</u>
	500
	13,800
<u>7,600</u>	<u>6,900</u>
4,100	4,320
<u>29%</u>	<u>31%</u>
2倍以下	1.6倍

# シリコンウエーハ事業生産体制の見直しについて

< 三菱住友シリコン株式会社 (SUMCO) >

## 米国事業の再編

米国オレゴンの南・北2工場を閉鎖し、他工場へ生産を集約する



## 国内事業の効率化

野田工場 生産停止、間接要員の削減

今次の再編・集約により生産体制の抜本的統廃合が完了

- ・合理化効果 約150億円／年
- ・(連結) 売上高経常利益率10%以上を確保を目指す

# 鹿島製鉄所 突風災害について

## 災害の状況

- ・原料岸壁アンローダー被害(6基中 2基)
  - ・出荷岸壁クレーン被害(20台中 6台)
- 生産面、出荷面で大きな影響はなく、クレーンの修復等、全面復旧に向けて対応中

## 当社03年度 通期連結業績への影響

(億円)

経常損益	△40程度
特別損益	△20程度

現時点では左記の通り業績見通しに織り込んでいる。